

砂防事業の出前講座を行いました。(Part2)

日野川河川事務所
 平成26年11月26日(水)

平成26年11月26日(水) 伯耆町立八郷小学校4年生17名を対象に、砂防事業の出前講座を行いました。最初に教室で、スライドや模型を使い、大山の頂上部の状況や土石流が発生するしくみ等について学んでいただき、次に学校近くにある真野2号砂防堰堤に移動し、環境に配慮したスリット型堰堤の役割などについて説明を行いました。

学校の近くに堰堤があることから、国の事業を身近に感じ取っていただけただけです。

見学に行った真野2号砂防堰堤は、本体の真ん中にすき間をつかって、小さな石だけを流す砂防堰堤なんだよ。



土石流の恐ろしさを勉強



模型を使って土石流が発生する状況を説明



積極的に手を挙げて感想を述べてくれました

真野2号砂防堰堤を見学

魚の事も考えている堰堤だということが分かりました!



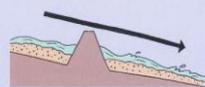
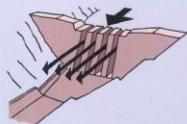
学校のすぐ近くに堰堤があることが分かりました。



スリットの構造

大きな洪水(土石流)がおこった場合

小さな洪水の場合



大きな岩などが流れていくのを止める

下流に被害の出ない小さな土砂をスリットのすきまから流す

土砂流による災害からみなさんの安全を守ると同時に環境への影響にも配慮した新しい堰堤“スリット型”が採用されています。